

北海道医療センター

神経筋 / 成育センター

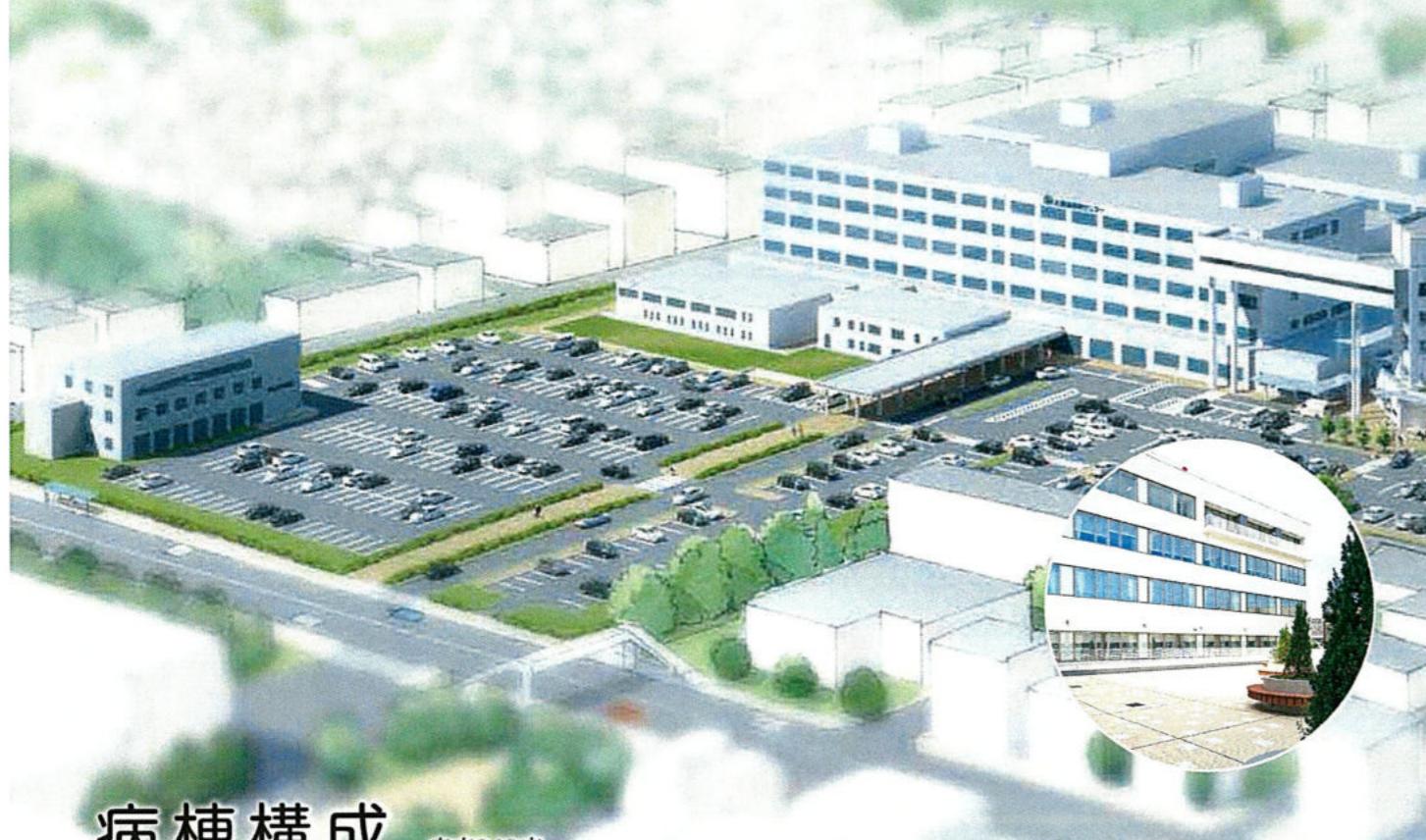
National Hospital Organization

Hokkaido Medical Center

まいにちから、まんいちまで。

北海道医療センターは3次救命救急センターを有し、急性期（救急医療、災害医療、がん等）から慢性期（神経難病、結核等）、長期療養（筋ジストロフィー、重症心身障がい）まで全ての医療ニーズに対応するハイブリットな病院です。

この度、筋ジストロフィー・重症心身障害の専門医療施設として新棟「西館」が2020年8月に完成し、屋上には新たにヘリポートも設けました。



病棟構成

病床643床



病床規模 643床

(一般410床、結核21床(※1)、精神40床、筋ジストロフィー116床(※2)、重症心身障害56床) 短期入所(併設型)4床(重症心身障害病棟)

(参考) 機能移転前の病床規模 500床(一般410床、結核50床、精神40床)

※1 機能移転後引き続き行われる既存病棟の改修工事完了後(令和3年度)のベッド数

※2 短期入所(空床利用型)4床を筋ジストロフィー病棟で運営予定

診療科 32診療科

内科、糖尿病・脂質代謝内科、腎臓内科、心療内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児神経内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、歯科

西館(新病棟、教室等)	
屋上	ヘリポート
5F	管理部門 会議室
4F	西4病棟 (56床)(短期入所4床) 重症心身障がい児(者)
3F	西3病棟 (58床)(短期入所2床) 筋ジストロフィー
2F	西2病棟 (58床)(短期入所2床) 筋ジストロフィー
1F	理学療法室 訪問看護ステーション NIVセンター室 交流ラウンジ リハビリテーション室 カウンセリング室 神経筋/成育外来 防災センター 療育指導室 宿泊室

臨床研修棟



附属札幌看護学校



設置年月 / 平成15年4月
1学年定員 / 80名
総定員 / 240名(3年課程、男女共学)



西館の紹介

神経筋 / 成育センター

建築規模 地上 5 階
構造 SRC 造、屋上ヘリポート

新棟「西館」に機能移転された
神経筋 / 成育センターは病院病
床が筋ジストロフィー 116 床、
重症心身障害児（者）56 床（う
ち短期入所 4 床）です。

北海道医療センター副院長 石川 幸辰

長年、八雲において、呼吸療法認定士の資格を持つ理学療法士、作業療法士、看護師、臨床工学技士や児童指導員、保育士など他職種によるチーム医療、どんな障がいのある児童にも十分な専門教育を提供できるよう医教協働を実践して参りました。この度、この札幌の地において、個々に最適な（テーラーメイド）医療をご提供できるよう尽力します。

神経筋 / 成育センター部長 石川 悠加

神経や筋肉の難病の子どもから青年まで、脳神経内科に移行する過程に関わらせていただきます。疾患修飾薬、呼吸リハビリテーション、手動および電動車いす、アシスティブテクノロジー活用をサポートします。成長や活動に合わせて、誰にとっても過ごしやすい環境づくりを進めています。

ここが
ポイント

患者さんは CT や MRI 検査、急性期対応など、他院で治療し、症状が落ち着いたらまた病院に戻り生活していました。患者さんの高齢化に伴う合併症の増加が見込まれる中、移転後は急性期の対応が可能となりました。生活にかかせない車椅子や鼻マスクが難しくなった患者さんも道外から多く来院されます。札幌に移転し、立地的にもアクセスがしやすくなりました。



NIV センター室



数多くのマスクを取り揃え、顔面皮膚のトラブルを防ぎます。可能な限り気管切開回避に努め、快適な NIV を継続できるようサポートします。

神経筋 / 成育外来



理学療法室



呼吸リハビリテーション、
変形を強めないためのストレッチ、車いすのシーティングや人工呼吸器搭載に伴う環境設定など

臨床工学技師室



人工呼吸器の保守管理。
電動車いす上で使用する人工呼吸器のバッテリーのチェック。

作業療法室



『働く・遊ぶ・学ぶ』場として、
道具・知恵・環境など、できない理由を少しづつ改善し、やってみたい活動をサポート。

車いす専門外来



オーダーメイドのシーティング。
車いすを身体に合わせる調整をします。

研究検査室



神経筋疾患の特性に対応した肝・腎・心の生化学項目の測定や呼吸耐力予備指数 (BITI)、遺伝子診断、ベッドサイドでの終夜脳波などを実施。臨床のニーズに合わせ時間をかけて工夫したオーダーメイド検査。

歯科診療室



筋ジストロフィー 西2病棟・西3病棟



病室にはテレビモニターの位置や高さを調整できる可動式アームが設置されています。パソコンやゲームなどの操作は、患者さんの手の機能にあつた特殊なスイッチを使用しています。

治療と日常生活



電動車椅子に乗車して活動している多くの患者さんは、テラスやリハビリへ行くためにエレベーターホールにある天井のセンサーで自由に階の行き来をしています。病棟には人工呼吸器を使用している患者さんが多いので、お風呂日はアンビューバッグで呼吸を維持しながらミストシャワー やエレベートバスを使用して入浴します。



e
スポーツ
対戦型のコンピューターゲームに取り組む患者さんも

作業療法室では動画編集や絵画、ゲームなどの趣味活動や就労している方が集まって作業を行っています。交流ラウンジでは患者さん主体の自治会「ハーモニー」の話し合いや家族との憩いの場として多目的に使用しています。

療育指導室



療育指導室には、児童指導員、保育士といった専門職が配置され、主に療養介護サービス・医療型障害児入所施設入院患者の福祉、教育、心理、保育の部門で関わっています。普段の生活の中でより楽しく過ごせるように、外出やカーリング、カラオケなどの活動やクリスマス会、節分などの行事を企画、提供しています。年に1、2回外部の方をお招きしてお楽しみ会やライブを実施しています。

患者さんご家族に通信で、活動の様子を定期的にお伝えしています。

重症心身障がい児（者） 西4病棟



明るく開放的なデイルームでは、保育士・児童指導員が協力し、個々の患者さんに合わせた遊び、誕生会や季節に合わせた行事を提供しています。また、お昼を食べたり、楽しい時間を過ごすくつろぎの場となっております。患者さんの心と身体に寄り添って療育しています。



病室には大きな窓があり、三角山や札幌の町並みなど季節の変化を感じることができます。患者さんの身体の状態に合わせて様々なタイプのベッド、トイレや洗面台をご用意しています。療養生活を快適にお過ごし頂けるよう環境づくりに取り組んでいます。



家族と同室で過ごせるファミリールームや、全国から来られる入院患者家族や外来患者のための宿泊施設もあります。また、患者さんが病気療養をしながら学校教育を受けられるように、北海道手稲養護学校三角山分校、市立札幌山の手支援学校を併設しています。



【JRバス】

- 地下鉄東西線 西28丁目駅より西21・循環西21番山の手線にて北海道医療センター前下車
- 地下鉄東西線 琴似駅バスターミナルより琴43番西野中洲橋線にて北海道医療センター前下車
- 地下鉄東西線 宮の沢駅より西21番山の手線にて北海道医療センター前下車

まいにちから、まんいちまで。



独立行政法人 国立病院機構

北海道医療センター

〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号
TEL: (011) 611-8111
URL: <https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/>

